

ペルー ブルーベリー輸出額が史上最高を達成

[FreshPlaza 2025年2月26日](#)

ペルーのブルーベリー輸出は出荷量の増加と市場の拡大により史上最高の21億ドルを達成

ペルーの2024/25年度のブルーベリー出荷シーズンは、記録を達成した。2011年の商業的拡大以来、ペルーのブルーベリー部門は課題に取り組んできたが、その結果ブルーベリーは最大の輸出農産物となった。この成長は、気候条件、技術への投資、改良された品種、及び米国・中国等の国々との貿易協定によるものであり、20万人以上の雇用を生み出している。

2025年1月現在、ペルーは21億1,800万米ドルに相当する32万7千トンのブルーベリーを輸出しており、これは輸出量が54%、輸出額が22%増加したことを意味している。しかし、平均価格は6.48米ドル/kgと、21%下落した。この出荷シーズンは、初めて20億米ドルの大台を超え、亜鉛鉱石、鉄鉱石等の主要な鉱物を上回ったことで注目に値する。

この成長は、セコヤ、ユーレカ、マジカ等の新しい品種への置き換えに支えられている。ただし、ベンチュラとブリオクシの両品種を栽培する地域では、まだこうした変更が行なわれていない。品種の更新と剪定作業の遅れは、出荷量の増加にもかかわらず価格を安定させるのに役立った。

市場の多様化は、深刻な価格の下落を伴わずに成長を維持する上で役に立った。米国向けの輸出も増加したが、最も伸びたのは中国向けとヨーロッパ向けであった。ラリベルタ、ランバイエケ、イカの各県が主要な輸出向け産地であった。

米国は依然として最大の輸出先であり、出荷量は、10億4,400万米ドル相当の合計15万8千トンであった。ヨーロッパ向けは6億900万米ドル相当の9万6千トン、中国向けは2億3,700万米ドル相当の3万7千トンであった。2025/26年度の出荷シーズンには、好天を前提として、輸出量で8~13%、輸出額で4~7%の成長が見込まれる。このセクターの成功は、多様化と技術の進歩を促進する。

出典: [Blueberries Consulting](#)

チリ ブルーベリー輸出が市場の変化の中で7%増加

[FreshPlaza 2025年2月28日](#)

チリのブルーベリー輸出部門は、2024-25年度シーズンに適応力を見せている。チリのブルーベリー委員会は、今シーズン、2025年の第2週までに5万5,946トンが輸出され、そのうち2025年に入ってから1万1,767トンが出荷されたと報告した。これは、2023-24年度シーズンに比べて7%多いが、2022-23年度シーズンよりは18%少ない。

有機栽培ブルーベリー部門は現在、総輸出量の12%を占めており、2025年第2週までの有機栽培品の輸出量は6,759トンに達し、同週に1,855トンのピークを迎えた。

ヨーロッパ大陸は依然としてチリ産ブルーベリーの主要輸出先であり、輸出の41%を占めている。次いで米国が35%、韓国が8%、英国が7%となっている。

これらの数値は、ブルーベリー委員会の予測とよく一致しており、当初の見通しからわずか2%の差異しかない。これは、業界の戦略的計画立案能力と、世界的な需要変動や物流問題などの課題への対処能力を反映している。

チリのブルーベリー輸出産業は、品種の選択、有機栽培の拡大、及び市場の多様化に牽引され、引き続き好調を維持している。これらの要素により、チリは世界のブルーベリー市場における主要なプレーヤーとして位置付けられている。

出典: [Mintec/Expansa](#)